

かみところ

新年号
第11号



総括と新年度の課題



上所校区コミュニティ協議会

会長 宗村 多四郎



“新年明けましておめでとうございます”

上所校区コミュニティ協議会の運営を「4ブロック体制、3部門4専門部会」に、その総括をして、新年度の課題を積極的に推進して参ります。

昨年、11月の役員会において、上半期の活動報告と下半期の確認を行いました。

その活動報告のコメント

- ◆ 8月21日実施の「防災フェスタ」です。行事を企画・実施にあたり、部会長と部会員が一致協力して起案、関係者への依頼、事前の準備、根回し、段取りなど多々苦労があったことと思感謝し労を多といたします。
- ◆ 「救急医療情報キット」配布事業を実施するにあたり、部会長と部会員が積極的に取り組み、民生児童委員協議会と連携、協働して、円滑に実施することができ感謝しております。

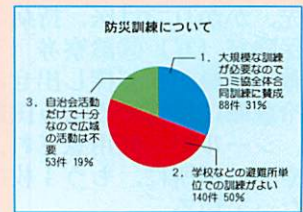
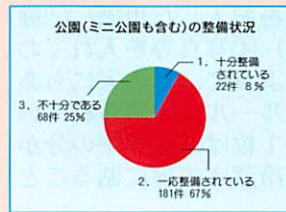
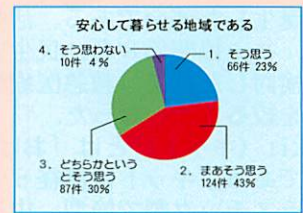
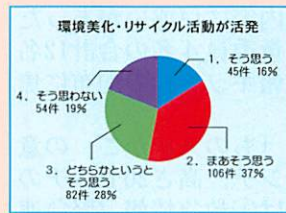
- ◆ 毎年実施のレッツ・エコウォーク行事には多数の参加者がありました。ほか、出前防犯講座、新規企画のマンガ教室、環境まちづくりを視点としたアンケートの実施集計など、種々活動の輪を拡げ、前進は成果と評価しています。
- ◆ 地域見守り活動マップ編集への参加、小学校子ども「地域安全マップづくり」の協力など、マップコンテストに応募「最優秀賞」「佳作」に入賞したことを、喜び称賛したいと思います。
- 新年度の課題は、更なる諸団体との協働化を図るべく参加登録の呼び掛け。
コミュニティ協議会としての自主防災会の設立も目指して行きます。
- 協議会が抱える課題として「背割排水路の整備促進」「旧中央卸売市場跡地の利用」等しっかりと役割を果たして行く所存です。よろしくご理解とご支援を、お願い申し上げます。

安心なまち アンケート結果まとまる

環境・まちづくり部会 部長 渡邊 春雄

組織改革後の最初の作業として、校区内の色々な問題点を浅く広い面でアンケートを各自治会（町内会）の班長（組長）さんを対象に参加して頂き、六月下旬から七月中旬にかけて回答を頂きました。設問の中に少しわかりにくいところもありましたが、皆様のご協力によりまして何とか集計することができました。

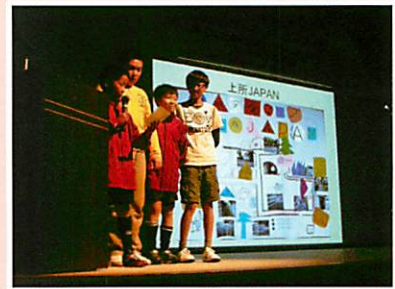
ご多忙のところ大変有難うございました。アンケートの結果全項目このページに載せることは不可能ですが主なところを少し次の様に載せましたので、ご覧になって頂きたいと思います。



地域安全マップ作り（新潟県の要請に上所小学校と共催事業）8月24日

安心・安全部会 部長 浅野 昌禧

小学生8名の参加2班に分かれ、「入りやすい場所」・「見えにくい場所」を探し、写真とコメントをマップ上にまとめ危険な箇所・安全な箇所を学びました。



出来上がったマップは第1回新潟県地域防犯マップづくりコンテストに参加、見事に県全体（69作品）中、最優秀賞（新潟県知事賞）上所japan（男子チーム）・佳作（安全マップ賞）上所なでしこ（女子チーム）が入賞いたしました。12月12日表彰式の模様

出前 防犯講座



10月23日、南地域保健福祉センターにおいて「犯罪機会論に基づく防犯活動について手品を交えた防犯講座」「入りやすい・見えにくい」危険箇所「入りにくい・見えやすい」安全な箇所をキーワードに犯罪の起きやすい環境を学びました。



232世帯に「救急医療情報キット」配布

福祉・保健部会 部長 石川 義成

福祉・保健部会は、23年度上所校区コミ協で初めて誕生した部会である。活動内容に戸惑いがあったが、コミ協関係8名、民生児童委員4名の合計12名で検討した結果「救急医療情報キット」の配布に焦点を絞ることとなった。

kit (キット) とは「おけ」「もの入れかご」の意味である。キットは直径5センチ、高さ20センチのプラスチック製で筒型。中には①救急情報(緊急連絡先、かかりつけ医、持病等を記入した用紙)②健康保険証(写)③診察券(写)④写真等を入れておき救急隊員がすぐ探し出せるように、どの家にもある冷蔵庫に保管するよう国際ルールで決められている。シールが2枚用意され、1枚は玄関の中の分かりやすい場所に、もう1枚は冷蔵庫の扉に貼ることになっている。

「救急医療情報キット」は国内で2008年から東京都港区で始まった。県内では上越市全域で昨年10月実施した。新潟市内では、秋葉区の一部、東区の一部、中央区(山潟地区、関屋地区等)ですでに実施、年々広がりを見せている。

委員会で初めての行事を実施するにあたり、迷ったことは「救急医療情報キット」の配布対象者の線引きと、対象者の調査であった。配布対象者の線引

きについては①75才以上の1人暮らしの方②80才以上(複数人)の高齢者世帯に絞り、対象者の調査については自治・町内会長が、民生児童委員から協力を得て、8月末までに報告するようお願いした。

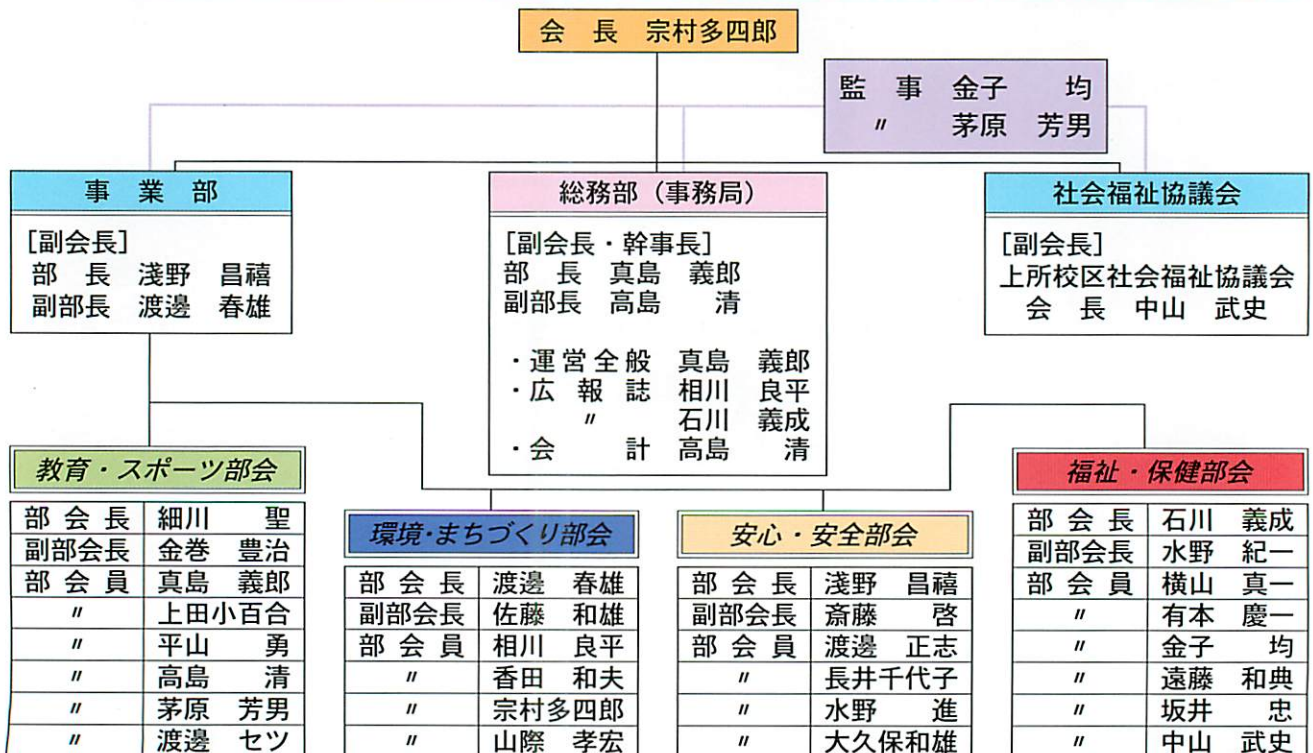
200世帯位と予測していたが、結果的には232世帯の方から希望が出され、当初の計画を実施することができた。

経費の面では1世帯500円程度を要し、当初予算10万円を少々オーバーする程度であったが、新潟市社会福祉協議会からの補助金で10万円支給される。

24年度も、本年度同様の予算で実施する予定であるが、線引きをどのようにするかが、大きな課題であり、検討事項である。日本は超高齢化社会、核家族、1人暮らしの高齢者の増加が予想される。セーフティーネットとして「救急医療情報キット」が大切と思う。



上所校区コミュニティ協議会組織図



編集後記

今年度スタートした4つの専門部会が、それぞれ活発に活動している様子が今回の広報誌でお分かりになったものと思います。各専門部会が部会長、副部会長、部会員の相互協力により新たな事業にとりかかっており、来年度はこれらの事業が更に飛躍し、辰(龍)年にふさわしい上昇気流のごとく発展するものと思われます。最後に東日本大震災の復興を、新年を迎えた皆様と一緒に心より祈念申し上げます。

(広報担当 相川 良平)

発行者	宗村多四郎
編集長	相川 良平
編集委員	石川 義成
	真島 義郎
	高島 清